

# あとがき

— Afterword —

「キャンパスマスタープラン2020」が完成し、皆様にお届けできることを大変喜ばしく思います。作成を推進していただいたワーキンググループの方々をはじめ、関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成17（2005）年10月、富山県内の国立大学である（旧）富山大学・富山医科薬科大学・高岡短期大学が再編・統合し、（新）「富山大学」となりました。当時から15年が経過した現在でこそ、全国各地で大学間連携や再編・統合の積極的な取り組みが見られますが、本学が果たした3大学間の統合は、それらの先駆けとなる壮大なプロジェクトであったと自負しております。

本学の「キャンパスマスタープラン」は、再編・統合後の平成19（2007）年度に初めて策定され、2回の改定を経て、今回に至っています。過去のキャンパスマスタープランをあらためて見直しますと、実際にキャンパスづくりに携わってきた教職員のみならず、それぞれのキャンパスを舞台に活躍された方々の思いが込められていることに気付かされます。一方で、本学では耐震化が必要な主要施設の機能改善・改修は完了したものの、大学全体としては未だ整備の面で多くの課題を抱えています。

これからは、ハードとしての「建物」の機能強化の視点のみならず、ソフトとしての「人」の活動面のサポートの視点からも、大学キャンパスが担う役割を踏まえつつ整備に取り組む姿勢がますます重要になるものと思われまふ。経済活動に置き換えれば「自信を持って世に出した製品と実際の顧客ニーズが噛み合わない」ことが起きないように、施設整備についても、ハード側に立つ者（整備者）とソフト側に立つ者（使用者）に生じる感覚のズレを、お互いにすり合わせる努力と謙虚さが必要であると考えています。

大学の活動は多岐にわたり、そのホームとしてのキャンパスの重要性は論をまちません。高度な教育研究を担う知の拠点として、地域や国際社会との接点として、もちろんそこでは学生たちの学びと交流を通じた成長もあります。こうした活動が営まれる限り、大学の施設はそれらをサポートするインフラとして、次の世代に引き継がれていかなければなりません。また大学の施設は、学部学科や教員の占有物ではなく、大学全体の共有財産として大切に使用されなければなりませんし、この意識を私たち大学の構成員は忘れてはなりません。

平成17年10月に再編・統合して以来の本学の施設整備の進展については、この「キャンパスマスタープラン2020」の「31第2次・第3次及び第4次国立大学等施設整備5か年計画」（122～132頁）にまとめた整備事業一覧をご覧ください。もちろんこれらは、国民の皆様の「納税」を通じたご支援の賜物であることは言うまでもありません。また最近では、寄附金や本学の自己財源による整備も増えており、大学としての自助努力も必要になってきております。今後も「06 基本方針」（13頁）に示しましたように、本学の将来に向けたキャンパス整備が進むことを祈念いたします。

令和3年3月

理事・副学長（大学改革・将来計画担当）  
施設マネジメント委員長

井上 将彦



## 「キャンパスマスタープラン2020」の策定経緯

2020年（令和2年） 7月14日	第2回施設マネジメント委員会において、キャンパスマスタープラン2020検討ワーキンググループの設置について審議，了承
2020年（令和2年） 9月18日	第1回キャンパスマスタープラン2020検討WGにおいて検討方針及びスケジュールを検討
2020年（令和2年） 10月29日	第2回キャンパスマスタープラン2020検討WGにおいて見直し案を検討
2020年（令和2年） 12月22日	第3回キャンパスマスタープラン2020検討WGにおいて見直し案を検討
2021年（令和3年） 3月3日	第6回施設マネジメント委員会で審議，案を了承
2021年（令和3年） 3月9日	役員会で審議し，決定
2021年（令和3年） 3月18日	教育研究評議会に報告
2021年（令和3年） 3月24日	経営協議会に報告
2021年（令和3年） 3月30日	公表

### 企画・編集

施設マネジメント委員会 委員長 理事・副学長（大学改革・将来計画担当）井上 将彦

### キャンパスマスタープラン検討ワーキンググループ

グループ長 都市デザイン学部教授	渡邊 了
人間発達科学部教授	大川 信行
医学部教授	笹原 正清
芸術文化学部准教授	清水 克朗
施設企画部長	戸島 準一郎
財務部企画課長	幸田 好史
施設企画課長	杉本 正和
学生支援課長	上木 祐一
研究振興課長	岩城 稔

### 富山大学キャンパスマスタープラン2020

2021年3月初版第1版発行

国立大学法人 富山大学

〒930-8555 富山市五福3190

TEL：076-445-6011（代表）

<http://www.u-toyama.ac.jp/outline/master-plan/index.html>